

赤相地区を中心とした播磨地方のオサムシ分布資料

大貝 秀雄

筆者はオサムシに関しては全くの素人である。しかし好きな昆虫の一つであり、目にする機会があればその都度ノートへの記録ないし採集を続けてきた。ごく一部の例を除いては見ドリしかおこなっていないうえに調査地も限られているのでデータとして不十分ではあるが、播磨地方における昆虫相の一資料として報告しておきたい。ここに示す記録は採集ノートから抽出・整理したものであって標本が手元に残っていないものも少なくない。

エゾカタビロオサムシ *Campalita chinense* (Kirby)

上郡町金出地：1992-VII-27; 1sp(目撃)

赤穂市高雄：1995-VII-19; 1♂, 1995-VII-26; 1♂

3例とも夜間、灯火に飛来していたものである。

'92年金出地のデータは車にひかれた死体を見たもので、ノートには性別も書いていなかった。

アキオサムシ *Carabus japonicus chugokuensis* (Nakane)

上郡町高山：1993-VIII-12; 1♀, 1995-V-27; 2♂
2♀♀, 1995-V-28; 2♂2♀♀.

千種町西河内：1995-IX-2; 1♀, 1996-V-25;
1♀, 1996-VII-13; 1♀, 1996-VIII-3; 1♂4♀♀,
1997-VI-7; 1♀.

高橋寿郎氏によれば兵庫県では産地が限られた珍しい種であるらしいが、筆者の採集例は比較的多い。そのほとんどは銅色型であり、千種町で黒色型を1♀のみ得ている。上郡町における本亜種の分布は、瀬戸内海に近い低地としては東限に近い記録になると見られる。なお、上郡町'95年の記録はすべて酢酸トラップにかかったものであった。

オオオサムシ *Carabus dehaanii dehaanii* Chaudoir

上郡町金出地：1992-VII-12; 1♀.

おそらく山地ではもっと多い種であると思われるが、筆者の記録は1例しかない。

ヤコンオサムシ *Carabus yaconinus yaconinus*

Bates

赤相地区の最普通種である。多くの個体は体色が黒く大型であるが、一部の産地では暗銅色でやや小型のものもとれている。後者のタイプの♀は、次種で大型のものと区別困難なことがあり、種間雑種の可能性も考えられるものの詳細は不明。採集ノートには赤穂市高雄の1♀(1976-VI-26)以降23回の記録があったが、実際に見た回数はずっと多かったと思われる。記録に出ている産地は次の通り、

赤穂市：富原，周世，牟礼，谷口。

相生市：矢野瓜生，矢野釜出，矢野榊。

上郡町：高山，行頭，八保，金出地，富満，作用谷，奥，高田台。

マヤサンオサムシ *Carabus maiyasanus maiyasanus* Bates

前種に次いでよく見られ両種が混生する産地も少なくない。しかし赤穂市では本種の採集例が全くないなど、その分布には偏りが認められる。体色は美しい金銅色のものが多く黒色型は未見。上郡町野桑の1♀(1989-V-21)をはじめ18回の記録がノートにあった。次に産地を記す。

相生市：矢野小河，矢野釜出，矢野瓜生。

上郡町：野桑，笹谷池，作用谷，奥。

クロナガオサムシ *Leptocarabus procerulus procerulus* (Chaudoir)

千種町西河内：1995-IX-2; 1♀, 1996-VIII-3; 1♂.

播磨では山地に多いと思われる種であって、赤相地区における筆者の採集例はない。また兵庫県に分布する近縁種であるオオクロナガオサムシ *Leptocarabus kumagaii* Kimura et Komiya とチュウゴククロナガオサムシ *Leptocarabus kyushuensis nakatomii* (Ishikawa) も筆者は採集していない。

ホソアオクロナガオサムシ *Apotomopterus porrecticollis kansaiensis* (Nakane)

赤穂市谷口：1995-VI-7; 1♀.

本種の記録も1例しかない。これは車を運転中に舗装路を横断しようとしていた個体を偶然発見したものであった。

ホンマイマイカブリ *Damaster blaptoides blaptoides*
Kollar

赤穂市大泊：1977-IV-19;1sp, 1978-XI-24;1sp.

赤穂市谷口：1987-秋;1sp, 1995-V-28;1♂.

上郡町作用谷：1991-V-19;1sp(目撃).

千種町西河内：1996-VIII-3;1♀.

採集例は必ずしも多くないが分布域はかなり広いようである。東播でも加古川市(1981-IV-12)と小野市(1994-V-6)で採集している。千種町で得た個体は体長57mmあり、兵庫県産としては最大クラスではないかと思われる。

<参考文献>

1. 高橋寿郎(1995) “オサムシ掘りをめぐりて” てんとうむし特別号遊蟲千年 26-31.
2. 石川良輔(1985) 原色日本甲虫図鑑(II) pp. 14-54, 保育社.
3. 石川良輔(1991) オサムシを分ける錠と鍵 八坂書房.

兵庫県相生市における
アサギマダラ越冬幼虫の確認
唐土 洋一

1997年12月21日、相生市矢野町瓜生(鍛冶屋谷)の三濃山麓にてアサギマダラの若齢から中齢までの幼虫10数等をキジョランより確認した。そのうちの6頭を持ち帰り、鉢植えのキジョランにつけて飼育(玄関先にて)しているが、寒さにも負けず脱皮を繰り返し大きくなっていく。いずれ蛹になるものと思われるが、この寒さの中で幼虫が活動しているということ事態が奇異にとれる昨今である。

注記) 相生市矢野町瓜生(鍛冶屋谷)では、鍛冶屋

川砂防ダム工事に伴う市道付替工事が行われており、全面通行止め(～3月25日)となっているが、引き続き本工事に入れば、このコースからの三濃山への登山等は当面不可能となる。

問い合わせ先：兵庫県上郡土木事務所

(TEL 07915-2-5111 担当:公園砂防課)

<参考資料>

- 1) 奥野晴三他(1989) 大阪付近のアサギマダラ 昆虫と自然24(5)37-42
- 2) 広畑政巳(1995) 兵庫県に於けるアサギマダラの越冬の記録 -姫路昆虫同好会結成20周年記念- てんとうむし特別号 「遊蟲千年」 118
- 3) 唐土洋一(1997) アサギマダラの記録 てんとうむし(11)84

ソバの花に來たチョウ
唐土 洋一

今年(1997)、佐用郡三日月町広山の休耕田にソバが植えられていた。ソバの花は白いものとばかり思っていたが、何とピンク色をしたそれは見事なものであった。聞くところによれば、この種は今年始めて植えられたヒマラヤ原産の高嶺ルビーという品種らしい。

来年もどこかの休耕田に植えられるものと思うが、詳しいことはわからない。興味のある方は「味わいの里三日月(0790-79-2521)」の小林所長に聞かれるとよい。

観察日：1997年10月19日 午前10～12時にかけて、観察出来たチョウの数(*印のものは、写真撮影出来たもの)は下記に示した11種類であった。

- | | |
|---------------|-------------|
| ✓ *①アカタテハ | ✓ *⑦テングチョウ |
| ✓ *②ヒメアカタテハ | ✓ *⑧ウラナミシジミ |
| ✓ *③キタテハ | ✓ *⑨ベニシジミ |
| ✓ *④ウラギンヒョウモン | ✓ *⑩ヤマトシジミ |
| ✓ *⑤モンキチョウ | ⑪チャバネセセリ |
| ✓ *⑥モンシロチョウ | |